

【農家さんとの共同開発】「汗が垂れる」「首元も暑い」を解消！

**日本国内指折りの酷暑地域・埼玉県深谷市の農家さんの想いをかたちに。
暑さ・日焼け対策「冷感ヘッドキャップ」7月20日（水）より限定販売開始
～日本の農家をテクノロジーのチカラで安心・快適な環境づくりへ～**

株式会社リベルタ（東京都渋谷区、代表取締役 佐藤透 以下、リベルタ）が展開するクーリングウェア・ギア「FREEZE TECH（以下、フリーズテック）」は、「ニッポンの夏を涼しく変える！」をキーメッセージとしたプロジェクト「HEAT RESCUE PROJECT（以下、ヒートレスキュープロジェクト）」を、2021年6月より始動。その一環として、日本国内指折りの酷暑地域である埼玉県深谷市の農家様とともに、暑さおよび日焼け対策が可能なアイテムを共同開発いたしました。年々酷暑が増す中、日本の農家の方々が安心・快適な環境を提供するべく、フリーズテックと深谷市が連携して、農家向けの商品提供や暑さ対策セミナーなどを実施してきました。農家様の暑さや日焼け対策の現状、希望を意見交換していく中で、新たな商品として「フリーズテック 冷感ヘッドキャップ タレ付きロング（以下、冷感ヘッドキャップ）」を共同開発し、2022年7月20日（水）よりECサイトに限定販売いたします。（ブランドサイト：<https://lidedf.jp/freetech/> 冷感ヘッドキャップ EC サイト：<https://liberta-online.jp/shop/products/25171408>）



農家様の声から誕生した新商品「冷感ヘッドキャップ」

ヒートレスキュープロジェクトでは2021年より、深谷市の農家様に対して、炎天下の中で長時間作業を行う農家が抱える暑さ対策の現状や、衣類への希望などをヒアリングしていきながら商品開発を行ってきました。ウェアやボトムスなどいくつかの試作品を作成し、今回その中から、より農家様からの要望や悩みが多かった農家用の「キャップ」にフォーカスして商品開発を実施。

炎天下での作業に必須のキャップですが、とにかく蒸し暑い、額から吹き出る汗を拭うストレス、両手が使えない時に目に汗が入って困る、また首回りの暑さ対策などが挙げられ、農家の方々の持つ悩みを活用した商品として、この度「冷感ヘッドキャップ」が誕生いたしました。（農家さんとの共同開発レポート：https://lidedf.jp/ft/heatrescue/report_work_1.html）

今回誕生した「冷感ヘッドキャップ」は、農家様と意見交換する中で、顔・首回り、そして背中にかけての暑さ対策に悩まれていたため、それらを解決するポイントを組み込んで開発いたしました。後ろタレ部分を長くすることで手持ちのトップスの中に入れ込むことができ、また前側にはネッククーラーを装備し、背中から首全体まで冷感を与えることが可能となっています。また、頭まわり内側には水分を吸収する素材をつけたことで、汗が顔や目にたれるのを防ぐ効果も期待できます。後頭部外側にはマジックテープがついているので、サイズ調整も可能。「冷感ヘッドキャップ」のため、帽子を上からかぶることもできます。ペットボトルを再利用したエコ素材生地(※)を使用しており、地球環境にも人にも優しい製品づくりを目指しました。顔まわりから首背中にかけての暑さ、日焼け対策のため様々な機能を詰め込んだ快適涼感アイテムです。 ※ECO BLUE 糸 100%リサイクルのポリエステルを使用



深谷市が推進するアグリテックと、リベルタが推進するフリーズテック

深谷市の本プロジェクト参画背景として、お互いにテクノロジーを活用した環境づくりにおける理念の合致があります。『深谷ねぎ』などのブランド野菜をはじめ、多種多様な農産物の生産地として知られる深谷市では、深谷市が将来にわたり発展し続けるためには、産業の核となる農業・食品製造業のイノベーションが不可欠であることから、直面する後継者不足、生産性の向上、高付加価値化などの課題を解決し、次世代農業を創出するために「DEEP VALLEY」というアグリテック集積都市を目指しています。

一方リベルタでは、年々暑さ対策が必要となっている日本の夏において、外で働く方やスポーツをされている方の暑さ対策が急務と考え、日常に必要不可欠である「衣類」に注目し、着ることでの暑さ対策に取り組むべく、テクノロジーを活用したクーリングウェア・ギア「フリーズテック」を開発してきた背景があります。

両者ともにテクノロジーを活用することによって未来の環境づくりを推進することから、ヒートレスキュープロジェクトに深谷市が参画いただいております。



日本の夏は年々厳しさを増している状況にあり、2021年の夏に熱中症で搬送された方は47,877人となり(※1)、7月は21,372人(昨年より12,984人増)で、低温だった2020年7月の約2.5倍となっています。また、地球温暖化の進行により2100年には最悪の場合、平均気温は最大4.8°C上昇すると予想されています(※2)。年々酷暑を増す日本国内において、炎天下で働くワーカー、アスリート、そして子どもから高齢者の方々まで多くの方が苦慮しています。気候変動が著しく進行する中、深谷市から日本全国の農家さんに向けて、日本の夏を乗り越えるヒントを今後も提供していきます。

(※1) 5~9月累計 総務省消防庁統計、気象庁ホームページより参照 (※2) IPCC「第5次評価報告書」2014年、1986~2005年の平均気温と比較したRCP8.5シナリオ

<フリーズテック>の特徴

フリーズテックは、接触冷感生地に加え、裏地全面にエリスリトール、キシリトールを含有した特殊な《氷撃冷感プリント》を施しています。この“特殊冷感プリント”で処理した生地が、人の皮膚から発生する水分(汗)を吸収すると、その吸熱特性により生地温度が下がり、冷感を付与します。また、風をうけることにより冷感をさらに強く感じることができます。触った時の冷感だけでなく、汗をかくことで冷感が“持続”するため、真夏の作業やスポーツ等での暑さ対策としておすすめ。厳しい製品検査や耐洗濯性試験などを実施し、耐久性・品質にも徹底的にこだわって開発されています。



氷撃®
冷感プリント

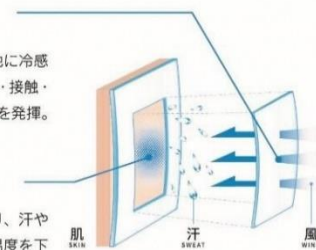
トリプル 冷感テクノロジー

通気性に優れた接触冷感の生地に冷感プリントを施すことで、気化熱・接触・プリントによる3つの冷感効果を発揮。

特殊プリント効果 (冷感プリント)

冷感プリントの吸熱特製により、汗や湿気を利用してウェア生地を下げため冷感が持続。

※「冷感が持続」冷感プリントが水分に反応している間



「フリーズテック 冷感ヘッドキャップ タレ付きロング」製品概要

【特徴】ハリコシがありサラツとした肌ざわりの素材を使用。タレ部分を長くすることで手持ちのトップスの中に入れ込むことができ、前側にはネッククーラーがついているので背中から首全体までひんやり、日焼け対策にも。頭まわり内側に水分吸収する素材をつけ、汗が顔や目に垂れるのを防ぎます。後頭部外側にはマジックテープがついており、サイズ調整も可能。帽子を上からかぶることもできます。ペットボトルを再利用したエコ素材生地を使用しており、地球環境にも人にも優しい製品づくりを目指しました。顔まわりから首背中にかけての暑さ、日焼け対策のため様々な機能を詰め込んだ快適涼感アイテムです。

【サイズ】FREE **【カラー】**BLACK **【価格】**3,850円(税込)

【商品ページ】<https://liberta-online.jp/shop/products/25171408>



農業都市「埼玉県深谷市」が目指すアグリテック集積都市「DEEP VALLEY」について

アグリテック集積都市「DEEP VALLEY」とは、農業版のシリコンバレーを本市において実現する取組で、農業に関わる企業が深谷で繋がり、自発的な企業の集積が発生している状態を目指すものです。

本市産業の強みである「農業」に、外部からの新しいテクノロジーを掛け合わせて、地域の農業課題の解決、また、生産性の向上を目指します。本市に多くの農業及び食品関連企業が集まり、本市から日本の農業のイノベーションを実現していきます。

株式会社リベルタについて

『喜びを企画して世の中を面白くする』という理念のもと、物を得る喜びではなく、その物を得ることで得られる「ココロの喜び」を創造します。削らない角質ケア「Baby Foot」、恋するハミガキ「DENTISTE」、目に見えて効果がわかる洗濯槽クリーナー「カビトルネード」、スイス製ミタリウォッチ「Luminox」、明日を見るボディメイク食品「アスミール」など、機能衣料事業をはじめ、美容・家庭日用品・腕時計・加工食品など幅広いジャンルの商品・サービスの企画開発・販売をしています。リベルタは、常識にとられない自由な発想で、商品を総合的にプロデュースするのが得意な会社です。

【本件に関するお問い合わせ先】

リベルタ PR 事務局（株式会社サニーサイドアップ内）

担当：奥抜（090-9152-6320）杉野（080-3358-6996）、林田

E-mail : freezetechnology_pr@ssu.co.jp TEL:03-6894-3251 / FAX : 03-5413-3232